

高等学校教育課程における観光科目の新設について

1 目的

県内6校の商業系学科を設置する高等学校において、次世代の成長分野と期待されている観光について体系的に学ぶため、各校の教育課程に観光に関する独自の科目を新設

2 新設する観光に関する科目

学校名	学科・コース	科目名	単位数 (学年)
敦賀	商業科	観光マーケティング	3単位 (2年選択)
奥越明成	ビジネス情報科	観光	2単位 (2年)
若狭東	ビジネス情報科	観光ビジネス	1単位 (2年)
坂井	ビジネスコース	観光情報	3単位 (2年)
福井商業	流通経済科	観光マーケティング	3単位 (2年)
武生商業	商業科	観光と広告	3単位 (3年選択)

※ 各高校での取組内容は別紙のとおり

3 これからの取組

(1) 観光に関する専門的指導力を高める教員研修会等の実施

- ・指導する教員が観光に関する専門的知識を高めるため、研修会に参加するなど、福井の観光資源や最近の県内の状況、観光に関する資格取得、情報発信などの指導法を学ぶ。

(2) 各学校で実施される授業に観光の専門家を派遣

- ・県や市町の観光行政の職員や観光協会、地元商工会、旅行会社等の外部講師を各校に派遣

(3) 生徒の資格取得や進学・就職への支援

- ・国内旅行業務取扱管理者、国内地理検定等の資格取得の支援
- ・観光学科等への進学を促進
- ・観光関係の就職先を開拓

各高校における取組内容

○敦賀高校 観光マーケティング 3単位（2年選択）

- 内容 ・敦賀市の観光の現状や課題を観光ボランティアとともに調査（6月）
- ・敦賀の魅力を題材に観光甲子園に出場（8月）
- ・敦賀市観光振興課、敦賀観光協会とともに、観光地でのガイドや市内を巡る観光ツアーを企画（8、11月）

○奥越明成高校 観光 2単位（2年）

- 内容 ・新聞記事や観光統計を使って福井県の観光実態を調査（5月）
- ・福井県や奥越の魅力に応じた情報発信の方法を学習（9月～）
- ・大野市職員、商工会議所、観光ボランティアと奥越の魅力について座談会を実施（2月）
- ・奥越の観光資源をテーマにポスターを作成し、福井銀行で掲示しPR（3月）

○若狭東高校 観光ビジネス 1単位（2年）

- 内容 ・若狭の食の魅力・販売促進活動、伝統工芸等について調査（6月～）
- ・小浜市の食の祭典の企画会議等に参加し、PRプランを商工会議所等に提案（10月）
- ・自校で栽培した農産物も含め、若狭の豊富な食や地域の観光について広くPR（10月～）

○坂井高校 観光情報 3単位（2年）

- 内容 ・坂井市の知名度や魅力ある商品について市職員の説明をもとに調査（6月～）
- ・坂井市のシティーセールス推進室のfacebook 事業における地域商品のプレゼン企画（月1回）や、観光ツアーの企画に参画（2学期）
- ・学校オリジナルスイーツのPR発信（2学期）

○福井商業高校 観光マーケティング 3単位（2年）

- 内容 ・高い技術力をもった福井の産業の魅力を調査（6月～）
- ・海外に紹介したい福井の観光地や食文化等について留学生と意見交換（学期1回）
- ・ふくい産業支援センター等で情報発信技術を習得（11月）
- ・学習内容をもとにポスターやインターネットを通じて福井の魅力を発信（2月）

○武生商業高校 観光と広告 3単位（3年選択）

- 内容 ・丹南地域の産業（タンス、打ち刃物等）や製造業等を調査（6月～）
- ・地域の産業マップやパンフレットを作成（10月～）
- ・地域の産業を体験するツアーや越前陶芸村から越前海岸を含めた広域の観光ツアーを企画（2月）